

Exastro IT Automation ログ一覧

Ver1.10

Exastro IT Automationの出力メッセージに関連するログについては以下の通りです。

No.	ITA機能	パス	説明	ローテーション	削除タイミング
1	－	/var/log/messages	システムログ	週次	4世代保存 ※1
2	－	/var/log/httpd/exastro-it-automation-*_log	Apacheログ	週次	4世代保存 ※1
3	－	/var/log/mariadb/mariadb.log	MariaDBログ	なし ※2	なし
4	○	/(ITAインストールディレクトリ)/ita-root/logs/backyardlogs/(サービス名)_yyyymmdd.log	サービスの処理が出力するログファイル	日次	なし
5	○	/(ITAインストールディレクトリ)/ita-root/logs/dev_log/*_yyyymmdd.log	開発者向けのデバッグログ。 ※管理コンソールのシステム設定でDEV_ROLE_ID に開発者ユーザーを示す ロール管理のロールIDを設定する。設定したロールに紐づくユーザーでログインするとdev_logにログが出力される。	日次	なし
6	○	/(ITAインストールディレクトリ)/ita-root/logs/restapilogs/ansible_driver/*	Ansible RESTAPI受付処理のデバッグ用ログファイル 通常の設定では出力されない	日次	なし
7	○	/(ITAインストールディレクトリ)/ita-root/logs/update_by_file/*	各メニューでファイルアップロードした時にアップロードしたデータの一時退避に利用	なし	日次 ※3
8	○	/(ITAインストールディレクトリ)/ita-root/logs/webaplogs/webap_yyyymmdd.log	Webap機能の操作・処理結果ログファイル	日次	なし

※1 OS・Apacheのデフォルトのローテート設定に依存。  
※2 mariadbのデフォルトローテート設定に依存  
※3 インストール時に、crontabに0時0分実行の削除スクリプトを登録。

Webap機能の操作・処理結果ログファイルの出力内容詳細については以下となります。

No.	出力内容	説明	サンプル
1	ログ出力時刻	-	2020/12/31 12:34:56
2	アクセス元IP	No.3～10の順番で最初に取得できた値	192.168.1.2
3	アクセス元IP	(プロキシサーバ使用時のみ設定) プロキシサーバがHTTP_CLIENT_IPに設定した値	-
4	アクセス元IP	(プロキシサーバ使用時のみ設定) プロキシサーバがHTTP_X_FORWARDED_FORに設定した値	-
5	アクセス元IP	(プロキシサーバ使用時のみ設定) プロキシサーバがHTTP_VIAに設定した値	-
6	アクセス元IP	(プロキシサーバ使用時のみ設定) プロキシサーバがHTTP_SP_HOSTに設定した値	-
7	アクセス元IP	(プロキシサーバ使用時のみ設定) プロキシサーバがHTTP_FORWARDEDに設定した値	-
8	アクセス元IP	(プロキシサーバ使用時のみ設定) プロキシサーバがHTTP_X_REAL_IPに設定した値	-
9	アクセス元IP	ユーザの IP アドレス。プロキシサーバ経由の場合はプロキシサーバのIPアドレスの値	192.168.1.2
10	リクエストメソッド名	GETまたはPOST	GET
11	現在のリクエストのホスト名	現在のリクエストのホスト、ヘッダーがあればその内容	192.168.3.4
12	現在実行しているスクリプトのファイル名	-	/default/mainmenu/01_browse.php
13	クエリ実行時の検索指数	-	grp=2100000002
14	ログインID	-	administrator
15	フリーログ	任意	RESULT:SUCCESS

出力例

2020/12/31 12:34:56 "192.168.1.2" "" "" "" "" "" "" "192.168.1.2" "GET" "192.168.3.4" "/default/mainmenu/01\_browse.php" "grp=2100000002" "administrator" "RESULT:SUCCESS"